

大畠中だより

柳井市立大畠中学校 学校通信 No. 7

令和5年6月後期

<https://www.city-yanai.jp/site/obatake-chu/>

一人ひとりを大切にする大畠中で～特別支援教育推進週間

6月5日(月)～6月9日(金)は、柳井市の全小・中学校で『特別支援教育推進週間(第1期)』でした。特別支援教育というと、支援学級や特別支援学校での教育活動では?と思われることもあるかもしれませんが、その本質は、「児童生徒一人ひとりの個々の特性や発達の状況に応じて、一人ひとりにあった適切な支援・指導を行うこと」にあります。特別支援教育が「教育の原点」といわれるのはそのためです。

柳井市教育委員会では、特別支援教育週間の実施の趣旨を、「特別支援教育の基本的な考え方である、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うことは、障害があるなしに関わらず、すべての子どもを大切にする姿勢につながるものと考えます。柳井市においては、すべての児童生徒にとって分かりやすく充実した学習活動を行うため、全教職員が～中略～特別支援教育の視点で学習環境や指導方法、教材などを改善することを目的として、柳井市特別支援教育推進週間を実施します。」として、全教職員でこの取組を進めています。

今回の推進週間では、特に次の各項目について改めて見直しを行い、改善に取り組みました。



その日の日課や提出物、予定を整理して掲示しています

「教室環境」

- 全面黒板がきれいに消された状態で始められている。
- 授業の開始時に児童生徒の机の上に必要なものだけが出ている
- 教室の棚や掲示物の整理がされている
- 朝、教室に入ったとき、机の並びが整っている
- 一日のスケジュールが簡潔に(丁寧)に掲示してある

「学級経営」

- 叱責や注意よりも、できるだけ称賛する場面を増やすようにしている
- 好ましくない行動の代わりとなる適切な行動(どうすればよいか)を、わかりやすく説明している
- 児童生徒の自尊心を傷つけないよう、叱責や注意の仕方を工夫している
- 児童生徒の努力の過程を認め、励ましている
- 教員が率先して「ありがとう」の気持ちを表現し、感謝の気持ちを自然に伝えあえる雰囲気をつくっている

大畠中学校は、施設はかなり古くなりましたが、「教室環境」を整えることで、生徒たちが気持ちよく学習に取り組めるよう努めています。また、「学級経営」の面でも、学習活動や行動を分析し、注意の場面が少なくなるように、称賛の場面が増えるようにあらかじめ仕組んだり心がけたりしています。好ましくない行動がみられた時も、じっくり生徒と関わり、保護者と連携を図りながら、適切な行動が増えていくよう支援・指導しています。

少し堅苦しい話になりましたが、大畠中学校では、この特別支援教育の考え方や視点をもって「全校生徒35人、一人ひとりを大切にする支援・指導」をしていきたいと考えています。



机やイス、棚など整理整頓し、学習環境を整えています



教室の黒板はいつもきれいに消されていて、わかりやすい板書を心がけています



ある日の図書室の風景～リラックスした笑顔がいいですね

選手権大会予選がありました

6月10日(土)、アデリーホシパークテニスコートにて、山口県中学校ソフトテニス選手権大会柳井支部予選会が行われました。男女の団体、個人に8ペアが出場し、1年生の中には、初めての公式戦という生徒もいて、緊張した様子で試合に臨んでいました。男子個人戦は、村上・松村ペアと中村・西村ペアがベスト4に勝ち上がりましたが、準決勝で敗退し、今回は残念ながら団体戦・個人戦、男女ともに出場権を得ることができませんでした。新型コロナが5類に移行し、入場制限のなくなった会場に多くの保護者の姿もあり、熱い声援が送られました。応援ありがとうございました。



また、田布施中学校体育館にてバスケットボールの部も行われました。こちらは柳井西中との合同チームで試合に臨みました。残念ながら県大会への出場権獲得はなりませんでした。大中の2人は2年生ながらチームの中心選手として活躍し、次回こそはという期待を感じさせる試合でした。

3年生はこれで部活動は引退になります。毎日、よくがんばりました。お疲れさまでした。



おおばたけをきれいに～日本列島クリーン大作戦！

6月4日(日)「日本列島クリーン大作戦」が行われました。毎年この時期に全国各地で行われている行事ですが、柳井市では「柳井市をきれいにする実践活動の日」と同時開催し、市内の多くの地区で環境美化運動を展開しています。大畠地区では、上南部地区一円、大畠区域一円、遠崎地区一円の3か所で、それぞれ神代学習等供用会館、ふれあいタウン大畠、旧遠崎小学校グラウンドを集合場所に、朝8時から実施されました。大中学生も17名が参加し、卒業生や小学生、保護者、地域の方と一緒に道路脇のごみや空き缶の収集、清掃活動を行いました。地区によっては普段からきれいにしてあることもあり、かなり奥まった場所のごみを取る生徒もいて、地域の方々から感謝されていました。

7月8日(土)には、「大畠ふれあいビーチ」の清掃活動もあります。



地域のために、地域とともに・・・